

# VERSANT S&Wチャレンジリポート

## 英語実力者が数多く受験、ハイスコア続出！

- ・スピーキング総合スコア平均は46.1点、日本人平均38点を大幅に上回る
- ・ライティング総合スコア平均は53.2点、日本人平均47点を6点も上回る
- ・TOEIC申告スコア平均は831点！英語の上級者たちが数多く挑戦
- ・スピーキングは「流暢さ」に課題、ライティングはバランス良く高い

2019年9月  
日本経済新聞社  
人材教育事業局

## S&W受験で総合的な英語コミュニケーション力が分かる！伸ばせる！

日本経済新聞社は2019年2月から、教育出版世界大手の英ピアソン社が開発している世界標準の英語テスト「VERSANT」についてスピーキングとライティングのテストをセットで購入できる全国一斉テスト「S&Wチャレンジ」を実施し、このほど受験データがまとまりました。

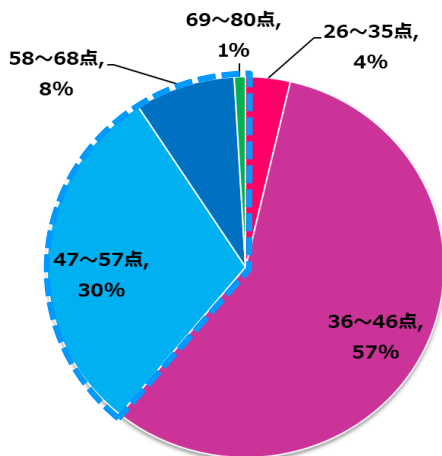
VERSANTスピーキングテストは世界で数多くのグローバル企業に採用され、日本でも金融大手など200社以上が導入しています。2019年6月には日本経済新聞社が販売を始めてから4年余りで、累計受験者数が20万人を超えることができました。ただ、VERSANTではライティングテストもあり、同様にピアソン社が得意とする高度な言語認識技術を活用しています。

ライティングテストはパソコンで簡単に受験でき、スコアもすぐに分かります。総合スコアに加え、「文法」「語彙」「文章構成」「言葉遣いと文体」「文章理解」の5スキルと「タイピングの正確性とスピード」まで把握できます。スピーキングテストでも総合スコアのほか「文章構文」「語彙」「流暢さ」「発音」の4スキルが分かります。つまりVERSANTのS&Wを受験すればスピーキングとライティングの総合力に加え、合計で9スキルについて20～80点まで1点刻みでスコアが客観的かつ詳細に分かります。それぞれの受験者の方にとっては自らの強みや弱みのほか、今後何を重点的に学習していくべきかを知ることができるのです。

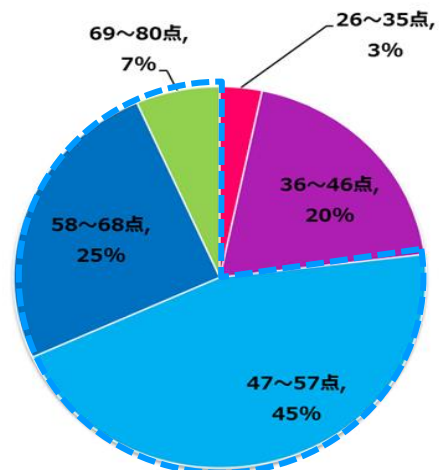
今回のS&Wチャレンジでは数多くのビジネスパーソンや大学生などの皆様に受験して頂きました。スコアについて解説させて頂きますが、さすがに多くの実力者の皆様に挑戦して頂いたために、ハイレベルのスコア結果となりました。

このレポートをご参照頂き、これから一段と求められる実践的な英語スキルを身に付けるきっかけにしてもらえれば、幸いです。

スピーキングテスト 受験者のスコア分布図



ライティングテスト 受験者のスコア分布図



## スピーキングで4割、ライティングで8割が47点以上の高得点

スピーキングテストのスコア分布ですが、やはり英語実力者の皆様が受験されているだけあって、総合スコアで47点を越えたのは全体の4割でした。日本経済新聞社が18年度に実施した有力企業が参加する法人モニター試験では47点以上は全体の2割程度に過ぎません。世界の言語能力の指標である欧州言語共通参照枠（CEFR）においてVERSANTの47点～57点は「B1」であり、基礎的な言語能力を持ちます。日本企業にとっては英語でビジネスをするために社員の目標としたいレベルです。ただ日本人平均は38点であり、今回のS&Wチャレンジの受験者の方のスピーキングレベルはかなり高いといえます。それでも、やはりネイティブと仕事などをしていくうえでは「B2」（VERSANTで58～68点）が理想です。

ただ日本人が得意とするライティングではB1以上、つまり47点以上が全体の8割近くになります。B2（58点）以上も3割以上おられます。具体的なスコアごとのスキルについては以下のスコア解説表を参照ください。

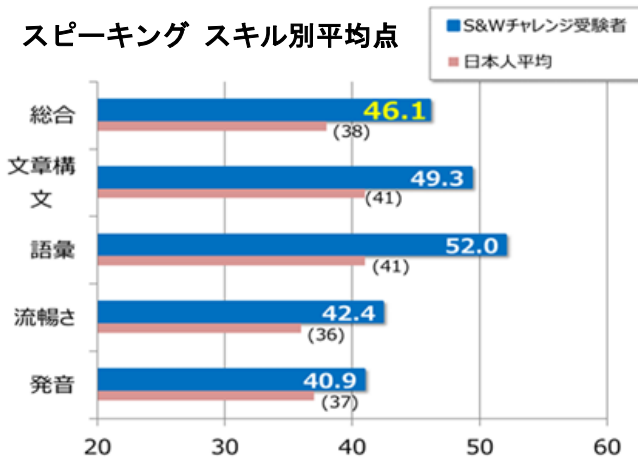
総合スコア	スピーキングテスト スキル解説	総合スコア	ライティングテスト スキル解説
79～80点	ネイティブのような会話速度でも苦勞なく相手の話を理解し、話すことができる。	79～80点	ネイティブレベルのスピードで苦勞することなく、書いたり、読んだりできる。書かれた文章はあらゆる状況において適切なスタイルになっている。
69～78点	自分の専門外の抽象的かつ複雑な話題に関する長い話も理解できる。ほとんど苦勞なく流暢かつ自然に自分の考えを表現できる。	69～78点	ネイティブレベルのスピードで書いたり、読んだりできる。文章は概して有効かつ明瞭だ。
58～68点	ほとんどのニュースや時事問題の番組の内容を理解できる。広範囲の話題について流暢で正確に話せる。	58～68点	数多くの目的に対して文章を作成できる。幅広いジャンルについて書かれた文章を理解できる
47～57点	日常生活や仕事に関連した簡単な事実を把握して理解できる。関心のある分野や専門分野に関しては多少の自信を持って話せる。	47～57点	ある程度の時間があれば馴染みのある目的について文章を作成できる。ただ、文章には単語の間違いや不適切な表現もある。
36～46点	はっきりと、ゆっくり話されていれば、ある程度理解ができる。言い淀みも言い直しも目立つが短い発言を駆使して理解してもらうことができる。	36～46点	簡単な単語や構文を使うことができる。長くて複雑な文章はなかなか理解できない。基本的な情報を文章で伝えることができる。
26～35点	非常にゆっくりとした速さで、明瞭に発音されていれば理解できる。暗記した文を短く途切れ途切れに使える。	26～35点	よく使われる簡単な言葉や構文を理解できる。短くてシンプルな文を書くことができる。
20～25点	ゆっくり直接話されれば、多少単語を理解できる。簡単な買い物のほか、日時を聞いたり伝えられる。	20～25点	英文の作成や理解については非常に限られたスキルしかない。

## スピーキングの課題は「流暢さ」「発音」、ライティングは高得点

S&Wについてスキルごとのスコア（サブスコア）の平均点は以下の通りでした。それぞれのスキルについて解説表もご覧ください。S&Wチャレンジでは受験者のほとんどがTOEIC高得点者の方々でした。それゆえスピーキングテストではリスニング力を示す「語彙」は52点と高くなっています。一方やはり課題は「流暢さ」「発音」、スピーキングでも日本人で苦手な方が多い2つのスキルです。

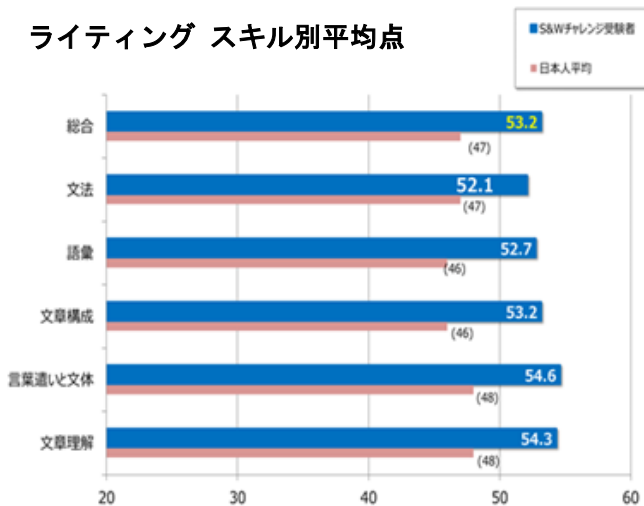
ライティングテストでは5スキルすべてでバランスよく高い得点となっています。特に「文章理解」は54.3点です。さらに「語彙」の52.7点もかなり高いスコアです。

スピーキング スキル別平均点



スピーキングテスト	サブスコアの解説
文章構文	語句や文節を適切に把握して使う能力。正確な構文作成力の習熟度を測定。
語彙	単語を理解して、会話の中で使えるリスニングなどのスキルを測定。
流暢さ	文章を構築したり、読み上げたり、復唱する中でのリズム、テンポの良さなどを判定。スピーキング力の基本が試される。
発音	ネイティブのように子音や母音を発音し、アクセントをつける能力を測定。日常単語の音韻の知識が試される。

ライティング スキル別平均点



ライティングテスト	サブスコアなどの解説
文法	英語で書かれた幅広い文章構文をどれだけ適切に理解し、作成できるかが採点される。
語彙	英単語を理解し、使いこなすスキルが採点される。自らの意図を相手に伝える適切な単語選択が重要。
文章構成	明瞭かつ論理的に、英語の文章で情報を伝えられるスキルを採点する。
言葉遣いと文体	適切なスタイルや文体などを使い、相手との適切な関係を築くための文章作成スキルを採点する。
文章理解	日常生活やビジネスの場で書き手である相手の意図を理解し、適切に対応するためのスキルが採点される。

## スピーキング・ライティングで60点超えが続々

「S&Wチャレンジ」に応募された受験者のうち、スピーキングとライティングのテストの合計得点が高い方々について簡単にリストを作りましたのでご参照下さい。

### 高得点者の総合スコア・サブスコア ※一部抜粋

No.	業種	TOEIC スコア	SW合計点	Speaking 総合	文章構文	語彙	流暢さ	発音	Writing 総合	文法	語彙	文章構成	言葉遣いと文体	文章理解
1番さん	電気・電子機器	845	139	66	61	71	67	67	73	63	73	80	80	71
2番さん	主婦	975	137	61	59	64	62	58	76	72	73	80	75	80
3番さん	教育、学習学習支援関係	945	135	63	68	65	68	48	72	67	70	80	77	79
4番さん	その他	990	134	66	77	71	59	55	68	68	68	55	58	79
5番さん	その他	985	134	61	70	74	49	51	73	72	78	59	56	80
6番さん	その他	985	131	51	60	65	39	40	80	71	79	80	80	80
7番さん	その他製造	925	127	57	56	62	57	52	70	61	71	75	80	75
8番さん	その他製造	830	125	61	57	69	63	56	64	61	60	73	69	66
9番さん	電気・電子機器	975	124	61	62	64	60	57	63	68	61	57	67	58
10番さん	建設	945	123	59	54	58	72	47	64	57	64	73	70	69
11番さん	放送・広告・出版・マスコミ	945	123	58	63	56	51	63	65	59	62	73	74	70
12番さん	教育、学習学習支援関係	980	122	55	55	74	47	47	67	66	64	74	68	72
13番さん	その他	970	116	55	52	64	55	48	61	58	57	59	66	68
14番さん	金融・証券・保険	895	114	52	58	68	45	39	62	59	58	61	69	70
15番さん	コンサル・会計・法律関連	895	113	55	60	57	50	55	58	59	61	59	62	51
16番さん	卸売・小売業・商業(商社含む)	900	111	53	60	53	55	54	58	57	57	59	63	57
17番さん	機械、重電	850	111	52	57	65	45	43	59	55	61	51	57	64
18番さん	医療		111	51	56	59	46	42	60	59	64	55	60	56
19番さん	金融・証券・保険	955	111	49	52	53	49	42	62	58	61	63	65	69
20番さん	食品、医薬、化粧品	925	111	47	52	54	45	39	64	58	59	68	66	75
21番さん	金融・証券・保険	910	107	48	48	58	45	44	59	55	54	67	70	64
22番さん	電気・電子機器	990	107	45	52	47	41	38	62	57	64	75	69	57
23番さん	金融・証券・保険	865	106	51	55	55	52	40	55	55	55	50	57	55
24番さん	金融・証券・保険	915	105	51	52	56	53	44	54	51	52	56	60	58
25番さん	金融・証券・保険	550	104	52	55	60	42	55	52	51	56	52	53	45
26番さん	金融・証券・保険	890	104	51	48	53	58	45	53	50	54	49	57	54
27番さん	その他		104	46	52	50	44	37	58	56	58	57	60	59
28番さん	食品、医薬、化粧品	910	104	44	45	46	45	39	60	54	64	68	62	57
29番さん	金融・証券・保険	925	104	43	46	57	35	36	61	58	60	63	65	63
30番さん	金融・証券・保険	800	103	51	59	51	49	42	52	55	47	52	54	53
31番さん	金融・証券・保険	915	103	51	56	51	50	44	52	52	54	52	55	45

次頁解説





## 主婦の方が総合2位に、バランス良く高スコアを獲得

簡単に高得点者の皆様のスコアについて解説させていただきます。まず1番さんはスピーキング総合スコアが66点、ライティングの総合スコアが73点です。ネイティブとも十分に議論して一緒に仕事ができるハイレベルのスキルがあります。特にスピーキングでは日本人が苦手とする「流暢さ」を含めて4スキルがいずれも高スコアです。

それは2位だった主婦の2番さんも同じです。特にライティング力が素晴らしい。「文章構成」と「文章理解」がいずれも満点の80点でした。日頃からの継続的な学習の成果ではないでしょうか。

ライティングテストでは6番さんが満点の80点でした。これは「ネイティブレベルのスピードで苦勞することなく、書いたり、読んだりできる。書かれた文章はあらゆる状況において適切なスタイルになっている」という文句なしのレベルです。ただ、スピーキングテストは51点でした。日本人平均を13点も上回っていますが、それでも「流暢さ」「発音」のスコアが39点、40点と苦戦されています。リスニング力を示す「語彙」は65点と、非常に高いです。スピーキング重視の学習が重要です。

## 日本人が苦手な「流暢さ」のスコア強化が重要ポイント

10番さんはスピーキングテストとライティングテストがいずれもハイスコアです。特にスピーキングスコアが素晴らしい。日本人が苦手とする「流暢さ」が72点と、非常に高いスコアになっています。「流暢さ」が72点というのは相当な実力者です。帰国子女か、海外大学の正規留学生以外ではほとんどおられません。

12番さんですが、リスニング力を示す「語彙」のスコアが74点と、今回の受験者の中でもトップクラスです。「流暢さ」「発音」はそれぞれ47点と見劣りしますが、それでも「語彙」ができるということはネイティブとの会議などについていけるリスニング力があるということで大きな強みといえます。

22番さんはTOEICの申告スコアが990点です。VERSANTのスピーキングテストでは「流暢さ」と「発音」で苦戦されていました。ただVERSANTを初めて受験されるケースでは慣れていないこともあり、スコアが低くなることもあります。現在、金融大手などはTOEIC高得点者向けにはVERSANTの受験を推奨されています。TOEICは優れたテストで900点超えを目指される上級者も多いのですが、実際にビジネスの現場ではスピーキング力が必要であり、VERSANTで50点台後半をまず目指すことが重要だと考えられているからです。

22番さんも間違いなく英語の最上級者です。スピーキング重視の学習に取り組みられれば、比較的短期間でコミュニケーションスキルを高められます。

## 法人顧客や一般の英語学習者を対象に様々なキャンペーンを実施

今回のS&Wチャレンジの受験データ分析から見て分かるように、「VERSANT S&W」ではスピーキングとライティングの2つの重要なスキルについて詳細に実力を把握できます。2つのテストを有効に活用されれば、日頃の学習成果が見える化でき、スキルアップに必要な学習の道標にもなります。

日本経済新聞社では金融大手など法人顧客の皆様にはVERSANTを主に販売しています。ただ、一般の英語学習者の皆様にもぜひ、受験して頂きたいと考え、昨年秋から「英語スピーキングチャレンジ」「VERSANT S&Wチャレンジ」「サマーチャレンジ」という全国一斉テストを次々に開催してきました。サマーチャレンジでは8月末が受験期限でしたが、やはり実力者の方が数多く受験されています。昨年秋のスピーキングチャレンジ以降、何度も申し込まれている方もかなりおられます。

日本経済新聞社としては今後も多くの皆様と比較的手ごろな料金で受験できる機会を提供させて頂きたいと考えています。今後ともに英語学習に熱心な皆様にとって参考となるレポートも作成して情報発信していきますのでよろしくお願ひします。

